

かつやま 議会だより

9月定例会報告

2025.10.23

No.97

議会組織の変更	P 2
委員会報告	P 3
一般質問	P 5
審議結果	P11

9月定例会において、正・副議長および各委員会等の構成が変わりました

議 長



近 藤 栄 紀

(こんどう よしき)

北郷町伊知地

市議会当選3回。これまでに副議長、建設産業委員長等を歴任されました。

副議長



安 岡 孝 一

(やすおか こういち)

旭毛屋町

市議会当選2回。これまでに総務文教厚生委員長、決算特別委員長等を歴任されました。

各委員会等の構成

市の仕事は幅広く、複雑で専門的になっており、合理的・能率的に詳しく審査するために、予備的審査・調査機関として委員会が設置されています。

本市議会には常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3種類の委員会があります。常任委員会は3つあり、分担して関係する議案等を審査し、任期は2年です。特別委員会は特定の事件の審査や調査をするため、必要がある場合に議会の議決により設置されます。

※ ◎は委員長、○は副委員長

常任委員会	委 員	所 管
予算委員会（全議員）	◎松山 信裕 ○下道 恵子 他 全議員	一般会計予算に関する事項
総務文教厚生委員会（7名）	◎吉田 将克 ○石垣 智史 森 かよ子 安岡 孝一 下牧 一郎 丸山 忠男 帰山 寿憲	未来創造課、総務課、財政課、市民課、福祉課、健康体育課、会計課、消防本部、議会事務局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、他の常任委員会に属しない事項
建設産業委員会（7名）	◎浦上 雄次 ○富士根 信子 李 江嵐 近藤 栄紀 下道 恵子 松山 信裕 山田 安信	商工文化課、農林課、建設課、営繕課、上下水道課、農業委員会に関する事項

議会運営委員会（6名）	◎丸山 忠男 ○石垣 智史 下牧 一郎 松山 信裕 帰山 寿憲 山田 安信	議会の運営に関する事項
-------------	---	-------------

特別委員会	委 員	所 管
決算特別委員会（6名）	◎松山 信裕 ○下牧 一郎 石垣 智史 吉田 将克 森 かよ子 帰山 寿憲	決算に関する事項
新中学校建設特別委員会（全議員）	◎下道 恵子 ○森 かよ子 他 全議員	新中学校建設に関する事項
議会広報特別委員会（5名）	◎丸山 忠男 ○吉田 将克 浦上 雄次 森 かよ子 富士根 信子	議会だよりの編集や議会の広報全般に関する事項

一部事務組合等議会	議 員
大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員	森 かよ子 安岡 孝一 下牧 一郎 下道 恵子 山田 安信
勝山・永平寺衛生管理組合議会議員	吉田 将克 浦上 雄次 富士根 信子 松山 信裕 帰山 寿憲
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	近藤 栄紀

常任委員会報告

● 予算委員会

令和7年度勝山市一般会計補正予算（第2号）について審査を行い、可決することに決しました。

◆ 防災対策費【927万8,000円】

市役所3階の第1、第2会議室を改修することで、災害時に円滑な情報収集、情報共有を可能にして、大規模災害などにも対応可能な災害対策本部の強化を図りたい、と説明がありました。

委員からは、災害時には市民会館や教育会館も災害対策本部に活かせる、急いで改修するのではなく、市役所の機能を今一度よく検討して計画を立てるべきだ、といった意見や、中途半端に改修するのではなく、災害時に対応可能な対策本部にしてもらいたい、といった意見もありました。

（緊急防災・減災事業債 充当率100% 交付税算入率 70%）

◆ 新規・結婚支援事業費【50万円（国2/3 33万3,000円）】

〈委託事業者〉

Amour（アムール）代表 石川 舞 氏
経歴

福井県地域の縁結びさん、チャイルドカウンセラー、福井市、坂井市、勝山市で恋活イベント開催など

〈業務内容〉

- ・独身の男女とその親等を対象にした婚活イベントの周知、企画立案、くろすかつやま（勝山市結婚相談事業）の管理運営。
- ・結婚・子育て支援等の情報発信、企業や結婚相談員との連携、未婚者や若い世代へのPR。

◆ 多様な宿泊施設整備支援事業【6,300万円】

昨年のガレージハウス型宿泊施設（道の駅隣接地、令和7年12月開業予定）同様、北陸新幹線の県内開業や今後の中部縦貫自動車道全線開通に伴い、多様化する観光客のニーズに対応するため、観光資源を活かしたコンセプトルーム等、

多様で魅力的な宿泊施設の整備を支援します。

支援枠及び総事業費の予定額は、新規開業枠が3件で9,050万円、一般枠が1件で450万円。これに対する補助額6,300万円の内、1/2にあたる3,150万円は、県の補助になります。

◆ 中学校再編施設整備事業費【△1億5,683万2,000円】

都市構造再編集中支援事業補助金の中学校再編分として要望していた令和7年度補助金額の内示が予定額を下回ったため、令和7年度の事業費1億5,030万円を減額し、令和8年度に増額して確保できるよう要望していくと説明がありました。委員からは、土壌汚染対策法第12条の届出に伴う追加対策費の増額1,700万円に対して、本来やるべき作業を怠っていたことへの厳しい指摘があり、今後買収予定である3中学校跡地利用のあり方なども議論されました。

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案11件について全て可決しました。

◆ 消防団の設置等に関する条例の一部改正・消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正について

社会情勢の変化、居住人口の減少等により、団員確保が難しくなっている状況があり、第5分団を第6分団へ編入、大規模災害消防団員の導入、学生の消防団の入団促進を図ります。

委員からは、団員確保が困難になっている状況に理解を示す意見がある一方、今年の消防操法大会で第3分団が県で3位の成績を納めた時に受けた感動が紹介され、消防団にかける心意気などにストーリー性を持たせて、新しい団員を募集する際のアピールポイントとして訴えていくなど、募集広報の工夫について意見が出されました。

◆ 教育会館施設整備事業について

教育会館に全天候型のこどもの遊び場を整備するとともに、教育会館を若者や高齢者を含む多世代が利用できる施設に改修するための実施設計予算が計上され、当委員会でも内容について説明がありました。

委員からは中央公園と教育会館の連携の中で

トイレの設置位置等が定まっていないこと、中庭はどのようにしていくのか、これまでの議論で確定していない部分について質疑がありました。

理事者からは設計の中で工事費、優先順位も含めて検討した上で、意見も聞きながら確定していきたいとの説明がありました。

委員からはこの確定にあたって市民とのワークショップの方法についても質疑がありました。

理事者からは、ある程度案ができた段階で、各団体の代表の方々の意見を取り入れるワークショップを考えているとのことでした。

委員会では今後の進捗も含め、審査を続けてまいります。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案4件について全て可決しました。

◆ 上下水道料金制度審議会の開催状況について

これまで行われた4回の審議会の内容について説明がありました。審議会では、人口減少等による料金収入の減少や物価上昇等による維持管理費の増加などにより、今後さらに赤字の増加が見込まれ、最大限の経営努力を行っても、なお収入が不足する状況であることから、料金改定が必要であること、また、水道料金改定の実施時期を令和10年4月からとした場合に、料金算定期間となる令和10年度から14年度の5年間の赤字を解消するためには、現行の約1.3倍の改定が必要との説明を行った旨の報告がありました。

委員からは、直近の値上げが15年前となっているが5年ごとに料金改定を見直す方が良いのではという意見や、市民負担を少しでも軽くするために地方から声を上げて国の支援を求めていくべきといった意見が出されました。

◆ 長尾山総合公園の各種事業の渋滞対策について

現在臨時駐車場として使用している道の駅隣接地の将来の分譲を見据え、費用面やおもてなし、観光の相乗効果などを考慮してスキージャム勝山を新たな臨時駐車場とする方針であり、次の10月、11月の3連休に試験的に運用を予定している旨の説明がありました。

委員からは、スキージャム勝山は遠すぎるのではないかと、雁が原など別の場所は考えられないのか等、様々な意見が出されました。

理事者からは、臨時駐車場の候補地を検討した上で、現在の道の駅、越前大仏の2か所での運用から1か所での運用とすることにより、経済性や利便性等で市にも観光客にもメリットがあることや、遠方から数時間かけて来た観光客が恐竜博物館が見える位置で渋滞により更に1時間以上待つことを考えると、もっと短い時間で到着できるスキージャム勝山なら理解を得られるのではないかと考えている旨、説明がありました。

◆ 勝山温泉センター「水芭蕉」について

「水芭蕉」は、指定管理制度を行ってきましたが、譲渡を基本的な方針とし、譲渡を行うことで民間運営によるサービス向上と市の負担軽減を図りたいとの説明がありました。譲渡条件は、「建物及び源泉を含めた施設・設備については無償譲渡、土地については売却又は賃貸とし、温浴施設の運営を20年以上行うものとする。譲渡を前提に手続きを進めるが、譲渡に至らなかった場合には公募によらない指定管理により、指定管理期間を1年間とする暫定的な管理運営を行う」となっています。

◆ 青果市場建設状況について

道の駅「恐竜渓谷かつやま」に隣接する青果市場の建設状況を視察しました。地元農産物を使用する飲食施設も併設されており、農業振興と地域の活性化が期待されています。今後の予定としては、令和7年10月下旬に市場施設を先行オープン、令和7年11月上旬には全館（飲食物販・市場施設）オープンとなります。



青果市場建設状況

特別委員会報告

● 新中学校建設特別委員会

審査の結果、議案1件について可決しました。

◆ 勝山市立中学校建設工事（給食室棟工事）請負契約の締結について

今期定例会では、給食室棟工事の契約締結について初日に委員会審査を行い、同日議決しました。

本工事は当初入札で施工業者の決定を行う予定でしたが、校舎工事の施工業者との随意契約に変更されました。随意契約に変更することで工事費が大幅に削減できることや、大型重機を共用するなど、校舎工事、給食室棟工事の進行の調整がスムーズになり、効率的に工事を進めることができるとの説明がありました。

委員会では工事費の削減額の妥当性や、工事工程について議論を交わしました。

◆ 土壤汚染対策法第4条の未届事案について

本件については、県への届出を失念していたことから、工事を一時中止したうえで、届出の手続きを行いました。この工事一時中止期間の現場の保全・安全管理費などの追加費用について、責任の所在や額の妥当性、追加費用の負担先への確実な支払いなどについて議論がありました。

◆ 新中学校建設開校に向けた進捗状況について

24日の委員会では新中学校建設開校に向けた進捗状況について議論しました。

今回の委員会では福井型中高一貫教育研究会議に勝山市も参加したことの報告がありました。

委員からは県教育委員会との協議の状況など、今後も議会と情報を共有するよう指摘がありました。

本特別委員会では、勝山市の将来を担う子どもたち一人ひとりが、いきいきと活動できる、安全安心な学校が建設できるよう、今後とも議論を重ねてまいります。

一般質問 議・議員／理：理事者

- 勝山市立中学校について
- 小学校の統廃合について

その他の質問

- ・ 野焼きについて
- ・ 農業政策について



吉田将克 議員



議 開校に至る令和9年3月までの校舎建設工事、給食室棟工事、地下横断歩道建設工事の工事スケジュールを伺う。また、現在の3中学校で発生する不要な備品消耗品等の売却は検討しているのか伺う。

理 勝山市立中学校の校舎建設工事については、一時中止期間中に工程を見直して工期短縮の検討を行った。現時点で工事の遅れにより令和9年4月開校に支障がでることはない。

給食室棟工事は令和9年3月12日を工期末とし、開校時に温かい給食を提供できるよう進めていく。

地下横断歩道建設工事は、土木工事の国道部分と公園部分、建築工事の大きく3つに分けている。国道部分は順調に進んでおり、公園部分も今秋着工予定で、開校に間に合うと考えているが、不測の事態に備え工程精査に努めていく。

不要備品については、市内公共施設での活用や、民間への譲渡・売却など、できるだけ廃棄せずに引き続き活用できるよう考えていく。

議 従来からの「小学校の統廃合については、地域の自主性を重要視する」という市の考えは今も変わらないのか。また、統廃合を地域で検討する場合、どのような形で協議を行うのがよいのか。

理 小学校の再編については「それぞれの学区の保護者・地域住民の意思を尊重して対応する」という方針を変えていない。市教育委員会が再編を進めるのではなく、PTA及び区長会の両者から再編の意見が出たときに保護者と地域住民の意思を尊重して対応することとしている。野向地区では、この方針に沿って住民アンケートを実施し、「野向小学校あり方検討委員会」を設置、市教育委員会も依頼を受けてオブザーバーとして参加し、必要な情報提供をさせていただいている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 中小企業の価格転嫁への支援強化について
- 市の農業政策について

その他の質問

- ・改正鳥獣保護管理法について
- ・薬物乱用防止教育について
- ・「投票支援カード」の導入について



新風会・公明

安岡孝一 議員



議 最低賃金の引き上げや、長引く物価高を上回る賃上げに向けて、働く人の多くが勤める中小企業の「稼ぐ力」アップが不可欠であり、そのためには、コスト上昇分を販売価格に反映させる価格転嫁が最も重要となる。この価格転嫁の支援強化に市としてどのように取り組むのか所見を伺う。

理 県では「業界団体への価格転嫁対策奨励金」の創設や、専門家を派遣する「取引適正化サポーター派遣事業」を実施、また勝山商工会議所でも「価格戦略セミナー」を開催するなどしている。市はこのような関係団体と連携協力し、市内事業者と意見交換を行う中で、各種支援制度の紹介や情報共有などを通して適正な取引を尊重する機運を醸成し、安心して価格交渉を行える環境づくりを支援してまいりたい。

議 政府は、来年から米の生産について、増産の方向にかじを切り、農地の集積・集約化に力を入れるとしているが、市の現状は。また、スマート農業の導入支援や農業法人等の担い手の育成策はあるか。米の品種を高温障害に強い品種に変更することや、中山間地の農業従事者の高齢化もあり、これ以上の農地の減少を防ぐための施策についても伺う。

理 市の農業政策については、令和7年4月現在、市内農地の68.4%が担い手へ集積されている。スマート農業導入支援では、農薬散布用ドローン等の導入を進めており、担い手育成では、農業機械や施設の更新支援、人材確保や育成等の支援などハード・ソフト両面から取り組みを進めている。また、高温耐性品種である「いちほまれ」の作付面積は増加しているが、品質確保のため厳格な栽培管理や制約があるため、県に基準緩和などを要望していく。農地減少対策としては、多面的機能支払交付金や機構集積協力金交付事業などがあり、農林課にて対応している。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 観光について
- 中学校校舎跡地の利活用について

その他の質問

- ・第2期勝山市地方創生総合戦略について
- ・宅配ボックスについて



森かよ子 議員



議 市では、自然・文化・歴史など観光資源が豊富だと言える。「ぼっかけ」などの料理の調理体験や機織りの二次加工などの体験企画も良いと思う。体験型・着地型プログラムの開発について、具体的な施策とそれに対しての補助金や支援はどのように考えているのか。また、市の観光資源はどのようなものがあるか伺う。

理 体験型・着地型プログラムの開発については、本年6月にDMO法人勝山市観光まちづくり株式会社が平泉寺白山神社の3拠点を組み込んだ御開帳特別プランを造成し、県と市から補助金による支援を行った。観光資源としては、豊かな自然、地域文化、豊富な地元食材などがあり、農作物や文化財にもその可能性があるもので磨き上げやストーリーの付加などを行っていく。今後も市、DMO法人、商工会議所、観光関連事業者が連携・協力して、体験型・着地型プログラムの開発や活用に取り組んでいく。

議 市の中学校跡地は体育館、グラウンドも備えている。宿泊施設や昔ながらの遊び体験、サテライトオフィス等活用することもできる。地元地域の人たちと共に検討委員会等を設置する予定はあるか。また、避難場所として活用する予定はあるか伺う。

理 中学校跡地の利活用については、令和6年度から庁内検討委員会で協議を行っている。令和7年度中には一定の方針を定め、市長と語る会などを通じて市民の意見を伺う予定である。人口減少が進む中、すべての跡地を維持することは困難であり、民間活力を導入する必要がある。土地利活用の自由度を確保するため、現在借地部分の土地買収を進めている。避難場所としての活用は、勝山市地域防災計画と整合性を図りながら検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

● シニアカー購入への助成について
● 道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺の駐車場について

その他の質問
・古いエアコン使用世帯の買い替えへの助成について・再編する3中学校の余剰になる備品について・人数が減少する市内の小学校の今後の方向性について

市政会 下道恵子 議員



議 高齢になり車の免許返納後の移動手段においてデマンドバスを利用する方法もあるが、シニアカーはとても便利な乗り物だと考える。シニアカー購入への助成を検討できないか市の考えを伺う。

理 シニアカーは高齢者の移動を助け、閉じこもりを防止する効果が期待できるが、認知機能等が低下した方の利用は事故等の危険が伴う可能性があり、現時点で助成制度を検討する予定はない。高齢者の移動手段として、令和9年度を目標に市内全域でのコミュニティバスのフルデマンド運行を進めている。電話予約で最寄りのバス停から区域内のバス停まで移動できるため、近距離でも遠慮なく利用してほしいと考えている。

議 この夏の道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺の駐車場はほとんど毎日満車だった。青果市場の完成後はもっと混み合う事が想像される。恐竜博物館までのシャトルバスの発着場所のことも頭におき、ある程度市の駐車場として確保しておくことも必要だと考えるが市の考えを伺う。

理 道の駅に隣接する「恐竜渓谷かつやまエリア」は、民間資本による活用を見越し整備を進めてきた。計画どおり売却を推進し、地域経済の活性化と賑わい創出に努めたい。

道の駅混雑時の駐車場不足については、利用状況を分析し、将来の対策を研究する。

また、恐竜博物館混雑時のパークアンドライド用駐車場については、利便性や効率性を踏まえ、スキージャム勝山駐車場の利用を検討している。実際に混雑が予想される日にスキージャム勝山を臨時駐車場として運用する計画をしており、効果や課題を検証する。

一般質問 議:議員/理:理事者

● 勝山中学校の給食について

その他の質問
・今後の水道事業について
・多文化共生について

浦上雄次 議員



議 令和9年に開校予定の勝山中学校では給食室が設置され、自校式給食が実現することになる。出来たての温かい給食や、地産地消に期待する声があるが、生産者との連携強化や、食育、学習にも繋げながら、子どもたちにとっても誇れる給食であってほしいと願う。「日本一の給食」を目指すために、具体的な取り組みや今後のビジョンがあれば伺う。

理 市には「勝山やまのサーモン」をはじめ数多くの地元食材があり、一部は市内小学校の給食で提供し好評を得ている。地産地消の推進には地元食材の安定供給が課題であり、生産者やJA等との連携を一層強化し、計画的な生産・供給体制の構築に努めていく。

また給食は、食育の重要な実践の場でもある。毎月19日を「ふるさと給食の日」とし、地場産食材や郷土料理を取り入れた給食を提供している。家庭科等の授業では、献立づくりや調理実習を通じて食の大切さを学び、生産者の思いに触れ、感謝の心を育んでいる。勝山中学校で自校給食が始まれば、生徒がメニュー考案に参加する企画など、より発展的な食育プログラムの実現もできると考えている。

市が誇る特色ある給食の取り組みの一つ、「生産者の顔の見える米」は、給食で使用する米を市内農家から直接買い上げ、児童生徒が生産者を知ることができるというもの。また勝山市産の食材を使った特別メニューや地元ブランド食材に日頃から親しむことで、地場産物への愛着が深まり、将来的に地域の農業や漁業を応援する消費者になっていくことが期待される。

これらの取り組みを積極的に周知し、毎日の給食がふるさと勝山への誇りと感謝を育む時間となるよう、創意工夫を凝らしていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校の給食について
- 新中学校部活動の地域展開(地域移行)について

その他の質問

- ・県立大学恐竜学部生の居住環境等について



富士根信子議員



議 市民、保護者は、小学校のような自校式給食が行われると信じている方が数多くいる。委託会社が作る給食との違いは何か。

また、新中学校の給食はどのような計画で今後進められるのか、具体的な内容を公表してほしい。

理 現在の3中学校の給食は業者から学校へ搬入するデリバリー方式である。新中学校の給食は、調理業務は外部委託だが、栄養教諭が作成するメニューを委託先の調理師が校内の給食室で調理・提供する自校式であり、市の調理員が作る給食と違いはない。

今後は給食室での調理体制や調理業務委託の仕様を検討し、新中学校開校と同時に自校式給食を提供できるよう準備を進めていく。

議 新中学校の休日の各部活動の活動場所も含め、今後どのような計画で進めていく考えなのか伺う。

理 国の方針に基づき、学校・家庭・地域が一体で生徒を支える「部活動の地域展開」を進めている。令和5年度から7年度までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動を学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブへと移行するよう求めている。市でも、バドミントン、陸上競技、男子バレーボールなどが移行を進め、本年度からは市サッカー協会及び市柔道連盟の協力も得て休日の活動を始めている。

令和8年度から10年度までは「改革実行期間」の前期にあたり、休日の部活動は行わず、原則地域クラブ等で活動する。市としても8年度夏以降は休日の部活動は行わない。

今後はすべての種目の地域展開に向けて、スポーツ・文化協会等に加え、ダンスや太鼓、プログラミングなど様々な活動を行う方々にも協力を依頼し、中学生の放課後活動の選択肢を広げたい。また、勝山高校と隣接する地の利を活かし、中高生が共に参加する新たな活動形態も検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 空き家の対策と利活用について
- 勝山市の熊対策について

その他の質問

- ・持続可能な米作りと市民の食の安心について
- ・市民の健康づくりで医療費削減について



石垣智史議員



議 危険な老朽空き家には解体費補助制度があるが、申請が進みにくい課題も指摘されている。これまでの利用実績や、申請が難しい高齢者世帯・所有者不明の場合の対応はどうであるか。

また、空き家利活用の補助制度もあるが、利用件数や活用率は十分であるか。Uターンや創業支援、福祉施設転用など多様な利活用の展開を検討しているか伺う。

理 老朽危険空き家の解体費補助制度は、令和元年度から7年9月上旬までに26件の実績があり、申請書類の簡素化に努めている。なお所有者不明の危険な建物除去は、空き家特措法に基づき対応する。

空き家情報バンクへの登録は累計167件で、成約が112件。定住化促進事業補助金は190件の実績のうち中古住宅購入等は52件。現在、起業支援や福祉施設転用の補助金はないが、市民ニーズを把握して検討する。

昨年度実施した空き家利活用促進整備事業で、ゲストハウス等を複合的に展開する「IR I F U N E」が開業しており、若者等のモデルになるよう活用していく。

議 市でもクマの出没が増え、市民の不安が高まっている。令和7年4月から福井県の特定鳥獣管理計画が始まり、「保護」から「管理」へと方針転換される。これを踏まえ、市としてどのような対策を強化するのか。また、学校でのクマ遭遇時の安全教育の実施状況や、子どもや高齢者など情報共有が難しい世代への対応はどのようなになっているのか。

理 県の計画を受け、市はツキノワグマ捕獲計画を策定。新たな取り組みとして、人の生活圏への出没抑制を目的とした春季銃猟やクマ個体数調整のための檻捕獲等を実施している。

学校ではクマ対応の避難訓練等を実施し、クマ目撃情報等の共有は、メールや防災無線、パトロール等で周知対応している。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 市道の管理について
- 防災対策費について

その他の質問
・ドッグランの管理について



市議会 帰山寿憲 議員



議 市道法面の草刈りに対して、何らかの対策が必要と考えるが、補助金等の対応を行う考えがないか。

理 市道法面は市が管理する必要があるが、市道総延長446kmすべての法面を市が直接草刈りすることは困難であり、地域の協力を深く感謝申し上げる。市では地域の負担軽減のため、防草シートや生コンクリートの原材料提供制度を設けているほか、草刈機等に加えて作業効率の高いラジコン草刈機の貸出についても準備を進めており、これら支援策の活用を周知していく。

近年は人口減少や高齢化の進行、夏期の熱中症警戒情報発令など、作業環境の悪化が想定される。また、市街地でも空き地が増加し、野生動物の出没が多発するなどの状況もある。道路の通行の安全確保のほかに、生活圏における安全で安心な環境の保全を目的とし、鳥獣害対策や防犯対策なども考慮しながら、地域での活動に対する支援策について検討を進めていく。

議 災害対策本部設置時に手狭であるため、市庁舎会議室を、隣接する会議室を含めて改装する予定だが、暫定的な対応では費用の無駄になる可能性がある。対応を考えられないか。

理 現在は第1会議室を災害対策本部として活用している。市では災害対策本部の運営強化のため訓練を積み重ねているが、実際に大規模災害が発生した場合、本部運営職員をはじめ県、自衛隊、警察等の関係機関の応援も必要になることから、第1会議室だけでは賄いきれないという課題が洗い出された。このため、第2会議室と一体的に活用することで円滑な情報収集及び情報共有を可能とする機能強化を図りたい。またプロジェクター投映可能なホワイトボードシートの設置やモニターの据え付けなどの改修も行う予定である。庁舎が有効活用できるように、議員からの提案は検討し、考えていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちづくりについて
- 消防団について

その他の質問
・日本遺産の取り組みについて



新風会・公明 松山信裕 議員



議 市は、エコミュージアムの活動の理念をジオパークにおいて発展的に展開してまちづくりを推進してきたが、今後の方向性について、どのように考えているのか。

また、地区単位で人口や世帯数、組織体制、区費、祭りや行事、空き家など、地域の情報や将来の姿を共有し、解決に向けた基本情報を収集する集落カルテ事業をすべきだ。

理 ジオパーク活動で培った成果は今後も引き継ぎ、恐竜に重点を置いたまちづくりを積極的に進める。全国の中高生を対象とした恐竜学習プログラムの提供や、小学5年生対象の「かつやま恐竜スクール」の内容充実、市民向けの恐竜学習講座の開催を考えており、これらの活動で学びと誇りを育むとともに、観光・教育・産業に展開して持続可能なまちづくりを進めていきたい。

また、昨年「自治会活動に関する現状調査」と題して、集落カルテと同様の設問のアンケートを全区長対象に実施した。集落カルテ事業を段階的に進め、持続可能な地域づくりを目指す。

「令和6年度自治会活動に関する現状調査の集計結果」⇒



議 消防団の拡充・強化について、今後どのように入団を促し、団員を確保するのか。また、県立大学恐竜学部のキャンパスが開校し、学生たちが市内で暮らし始める。機能別消防団員制度の大学生防災サポーターとして活躍していただけないか。

理 消防団員は一定の確保はしているが、担い手不足により分団の編入や大規模災害団員制度の導入を進めている。今後も組織体制のあり方や団員確保について検討していく。また、来年度開校の県立大学恐竜学部勝山キャンパスの学生については、地域との関係性を育んで欲しいとも考えており、基本団員としての任用を考えている。地域社会に貢献した学生消防団員には、就職活動を支援する勝山市学生消防団活動認証制度があるため、これを学生に周知し積極的に勧誘を図っていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

●新中学校建設工事で県に届出をせずに違法に着工して3906万円の損害を発生させた問題について

●学校給食の無償化について

その他の質問

- ・与党が衆参両院とも過半数割れになったのは、多くの国民が自民党政治への批判と不満を示した結果であり、勝山市政にも繋がる教訓について

日本共産党 山田安信 議員




議 工事関係者すべての責任と負担は、事実経過から疑問がある。

「市民に負担させるのか」という市民の声は間違っていない。市長は、これを否定するのか。

市長等の給与減額は消費税にも満たず「処分が不十分だ」との指摘がある。市長は、自分の処分は終わったとの判断か。

設計受託者・監理業者と施工業者は、「3,000㎡以上の工事の着工30日前に必要な届出」だと知りながら「確認せずに着工した」のに「善管注意義務」はないのか。

杭打ち工事の補償費は「移動すると4か月工事が遅れる」との理由で、1か月の人件費まで満額計上されているが、これは「事業者の都合」ではないのか。

理 工事の一時中止に伴う増加費用は、国の「工事の一時中止にかかるガイドライン」に基づき市が支払う。市が負担するということは市税も充てられるという点で市民も負担するということにあたると思っている。

市長等の減給、関係職員の処分は終わっている。引き続き市を挙げて費用を圧縮し工事を円滑に進め、中学校開校に向けて努力することで責任を果たしていく。

今回の届出義務者の市が、契約書にこの届出業務のことを具体的に記載せず、協議もしてこなかったことから、設計受託者や工事施工業者に責任は問えないと考えている。

大型杭打機は、一時搬出すると数か月間別の現場で作業するため、本工事再開時に杭工事施工者が確保できなくなる。そのため工事再開を最短1か月後に想定し増加費用を適正に算出した。

議 あわら市が10月から小中学校の給食費を無償化している。市長は「国が実施するまで勝山市は無償化しない」という考えなのか。

理 食材料費の高騰による保護者負担を増やさないう、給食費の補助金増額や米代金を含む炊飯業務を市が受け持つ等の対応した上で、無償化実施は見送った。今後も国の動向を注視し適切に対応したい。

一般質問 議:議員/理:理事者

●広告費とPRについて

その他の質問

- ・市政の方向性について
- ・事業者支援について
- ・農林水産業の活性化について

李江嵐 議員




議 当市は保育料無償化や応援金115（いいこ）、そのほかにも不妊治療や育児に関してもさまざまな施策を講じているが、移住へ繋げるためには知ってもらう必要がある。また、発信の際には恐竜ブランドに加えて生活・産業・定住の分野をバランスよくPRすることが不可欠で、そもそももっと予算を増やすべきだと考える。

現行の広告費の規模で十分と考えるか、それとも人口減少という最大の課題に対応するため、広告予算をさらに増額すべきだと認識しているか。

その増額分を「支援制度検索ポータル」や「移住支援バナー広告」といったDX施策に重点投資し、市民や移住希望者に役立つ情報を届ける意思はあるか。

理 広告費については、新聞広告のほか新規事業としてYouTube広告に計上するとともに、予算には含まれていないがプレスリリース配信サービスPRTIME^{ビーアールタイムズ}Sを活用して市の取り組みや魅力を全国の報道機関へ発信する事業にも取り組んでいる。特にYouTubeでは今年5月に行われた平泉寺白山神社の御開帳にあわせた広告が成果を得ており、インターネット広告が一定の効果を持つことを確認できたと考えている。今後の広告費の増額については、今回のYoutube広告の実績やPRTIME^{ビーアールタイムズ}Sの分析を踏まえ、費用対効果を検証し必要に応じて増額を検討する。

また市では、常日頃から市民に伝わりやすい情報発信を心掛けている。引き続き市ホームページの構成を整理し、制度の探しやすさを改善するとともに、利用者にとって分かりやすいウェブ環境の整備に努める。

移住支援では、まず既存のポータルサイトの情報を整理・拡充した上で、YouTubeやSNS等を活用した広告展開を検討する。また、観光関連に限らず、子育て、教育、農林水産業といった暮らしの魅力についても、SNSを通じて随時発信を行っている。

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
 ■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議 案 第 1 5 号	令和7年度 勝山市一般会計補正予算（第2号）	予 算	可 決
議 案 第 1 6 号	令和7年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 1 7 号	令和7年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 1 8 号	令和7年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 1 9 号	令和7年度 勝山市水道事業会計補正予算（第1号）	建 設 産 業	可 決
議 案 第 2 0 号	令和7年度 勝山市下水道事業会計補正予算（第1号）	建 設 産 業	可 決
議 案 第 2 1 号	令和7年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第1号）	建 設 産 業	可 決
議 案 第 2 2 号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 3 号	勝山市職員の育児休業等に関する条例及び勝山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 4 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 5 号	勝山市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 6 号	勝山市消防団の設置等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 7 号	勝山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 2 8 号	勝山市立中学校建設工事（給食室棟工事）請負契約の締結について	新中学校建設	可 決
議 案 第 2 9 号	勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 3 0 号	勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 3 1 号	損害賠償の額を定めることについて	建 設 産 業	可 決
議 案 第 3 2 号	勝山市公平委員会委員の選任について	—	同 意
議 案 第 3 3 号	勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	同 意
認 定 第 1 号	令和6年度 勝山市歳入歳出決算の認定について	決 算	継 続 審 査
認 定 第 2 号	令和6年度 勝山市水道事業会計決算の認定について	決 算	継 続 審 査
認 定 第 3 号	令和6年度 勝山市下水道事業会計決算の認定について	決 算	継 続 審 査

◆ 表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 名	総 投 票 数	投票数		石 垣 智 史	李 江 嵐	吉 田 将 克	浦 上 雄 次	森 か よ 子	安 岡 孝 一	冨 士 根 信 子	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	松 山 信 裕	帰 山 寿 憲	山 田 安 信
		賛 成 票	反 対 票														
議 案 第 1 5 号	13	11	2	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×
議 案 第 2 8 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、除＝除斥、議長＝議長職（通常は採決に加わらない）

李江嵐議員に対する除名処分の執行停止について

本市議会は先の令和7年6月定例会において、地方自治法第132条、勝山市議会会議規則第151条に反したとして、6月26日に李江嵐議員に対する除名処分を決定しました。これに対し、同議員は福井地方裁判所に処分取消請求（本案）及び処分執行停止の申立てを行いました。福井地方裁判所は、「議員としての職務遂行は、住民から負託を受け、議事に参与し議決に加わるなどして住民の代表として当該自治体における住民の意思を当該自治体の運営に反映させるとともに、これらを通じて自らの政治的信条をも実現する議員個人の権利としての性質を有するものであり、議員としての活動を行うことができないという不利益は事後の金銭賠償によって容易に回復することができない。また執行停止により公共の福祉に重大な影響を及ぼすおそれがあるとの事情は認められない」等として、7月31日付けで除名処分の効力を本案訴訟の第1審判決言渡しから60日を経過するまで（それ以前に本案事件が完結した場合にはその時点まで）停止すると決定し、同日付けで同議員の地位が回復しました。なお本案訴訟は現在も係争中です。あわせて、同議員は地方自治法第255条の4に基づき福井県知事へ審決を申請しており、最終的な結論は裁判や審決の結果で判断されることとなります。



あなたも君も 消防団へ!

火災や自然災害など、予測できない危機に備えるため、勝山市では消防団員を募集しています。人口減少が進むいま、地域を支える人の力がますます大切になっています。

消防団の活動は、消火や防災だけではなくありません。

「地域を守る」という想いを共有する仲間とのつながりが、私たちのまちの大きな力になります。

あなたのその一歩が、安心して暮らせる未来につながります。

皆と一緒に、勝山を支えていきませんか?
(浦上 雄次 記)



勝山名物の“はしりやんこ”



消防団の一斉放水、皆さん
かつこいいです!

(募集要項)

- ・年齢が18歳以上で、勝山市に居住、もしくは勤務している人
- ・女性、若者、学生大募集中

詳しくは、勝山市消防本部 庶務課(消防団事務局)
0779-88-0400

議会日誌

7月25日 ジオパーク推進協議会、国道157号整備促進期成
同盟会定例総会
29日 長野県飯山市議会視察受入
8月 4日 議会運営委員会
8日 福井県市議会議長会8月定期総会
10日 「山の日」全国大会FUKUI2025歓迎レセプション
11日 「山の日」全国大会FUKUI2025記念式典
21日 総務文教厚生委員会、全員協議会、新中学校建設特
別委員会、建設産業委員会、福井県都市計画審議会
23日 福井県戦没者追悼式
24日 山の駅よろっさ10周年大感謝祭
29日 議会運営委員会
9月 1日 勝山市表彰審査委員会
3日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
4日 福井県市議会議長会県要望活動
9日 本会議、新中学校建設特別委員会、全員協議会、
総務文教厚生委員会、建設産業委員会、予算委員
会、議会運営委員会
11日 東洋大学行政視察受入
14日 勝山地区敬老会式典
16日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
17日 本会議(一般質問)、議会広報特別委員会
18日 総務文教厚生委員会
19日 建設産業委員会
21日 勝山市民体育大会相撲競技会(兼)勝山市地区対抗

相撲大会開会式
22日 予算委員会、議会広報特別委員会、秋の交通安全県
民運動
24日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会、決算特
別委員会
27日 越前市市制施行20周年記念式典、「TOYOTA GAZOO
Racing ラリーチャレンジ2025 in 恐竜」勝山前夜祭
28日 市内駅伝大会
29日 全員協議会、建設産業委員会、本会議
30日 勝山市林道愛護組合連絡協議会総会
10月 1日 赤い羽根共同募金運動オープニングセレモニー、
街頭募金活動、勝山市高齢者連合会運動会
2日 岩手県矢巾町議会行政視察受入
7日 議会広報特別委員会
10日 たけふ菊人形オープニングセレモニー
11日 すこやかフェスタ兼勝山市社会福祉協議会会長表
彰式、勝山高校大同窓会
13日 秋季消防訓練、東京勝山会総会(東京都)
14日 議会運営委員会、10月臨時会本会議、新中学校建設
特別委員会、全員協議会、決算特別委員会、議会
広報特別委員会
15日 福井県市議会議長会 中央要望活動(東京都)、東京都
羽村市議会行政視察受入
21日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会、新潟県
糸魚川市議会行政視察受入

編集後記

9月定例会より、傍聴席に新設したモニターを活用し、UDトークアプリ(文字起こし)による字幕情報を閲覧できるようになりました。多少変換誤りがありましたが、把握できる内容でした。また、現在は録画を公開しているYouTube配信ですが、今後はライブ配信を検討しています。皆様により早く情報をお伝えできるように取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。(吉田 将克 記)

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠男 副委員長 吉田 将克 浦上 雄次 森 かよ子 富士根信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画